

maxView Storage Manager Ver4.18
インストールレーションガイド

商標

maxView は、米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。

MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、サイバートラスト株式会社の登録商標です。

Microsoft とそのロゴおよび、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文には登録商標や商標に(R)、(TM)マークは記載していません。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NEC の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
4. 本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

1章	概要	4
1.1.	はじめに	4
1.2.	動作環境	5
2章	インストール	7
2.1.	インストール(Windows 版)	7
2.1.1.	事前準備	7
2.1.2.	maxView Storage Manager のインストール(Windows)	8
2.1.3.	起動とログイン確認	9
2.2.	インストール(Linux 版)	10
2.2.1.	事前準備	10
2.2.2.	必須パッケージのインストール	10
2.2.3.	maxView Storage Manager のインストール(Linux)	12
2.2.4.	起動とログイン確認	14
3章	アンインストール	15
3.1.	アンインストール(Windows 版)	15
3.1.1.	maxView Storage Manager のアンインストール(Windows)	15
3.1.2.	不要ファイルの削除	16
3.2.	アンインストール(Linux 版)	16
3.2.1.	maxView Storage Manager のアンインストール(Linux)	16
	改版履歴	18

1章 概要




maxView Storage Manager の概要について説明します。

1.1. はじめに

本書は、「maxView Storage Manager Ver4.18」のインストール、アンインストールについて説明します。
以降「maxView Storage Manager」という表記は、「maxView Storage Manager Ver4.18」を指します。

本文中の記号について

本書では、以下の3種類の記号を使っています。これらの記号と意味を理解していただき、本ユーティリティを正しくお使いください。

記号	説明
	本ユーティリティの操作で守らなければならない事柄や、とくに注意すべき点を示します。
	本ユーティリティを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

1.2. 動作環境

maxView Storage Manager の動作環境について説明します。

1. ハードウェア

1. 本体装置
FC-S13G FC-S13K FC-D13U

2. ソフトウェア

1. オペレーティングシステム
以下のオペレーティングシステムで動作します。

- Windows
 - ・ Windows Server 2025
 - ・ Windows 10
 - ・ Windows 11
- Linux
 - ・ MIRACLE LINUX 9.6 (64bit)

2. ブラウザ
以下のブラウザで動作します。

- Windows
 - ・ Microsoft Edge
- Linux
 - ・ Mozilla Firefox 91

3. その他

Linux で maxView サービスを起動するために以下のソフトウェアが必要です。

- ・ chkconfig



本資料ではデスクトップ環境を使用して作業することを前提として作成しております。



インストールおよびアンインストール手順は Windows 環境では Administrator 権限、Linux では root 権限のあるアカウントで行ってください。

2章 インストール

maxView Storage Manager のインストールについて説明します。

2.1. インストール(Windows 版)

Windows 版のインストールについて説明します。

2.1.1. 事前準備

maxView Storage Manager のインストールを行うには、バックアップディスクに格納されているセットアップモジュール (setup_asm_x64.exe) 及びインストール用バッチ (maxView_install.bat) が必要となります。

下記に、必要ファイルのバックアップディスク内の格納場所を示します。
利用方法は、次項以降を参照してください



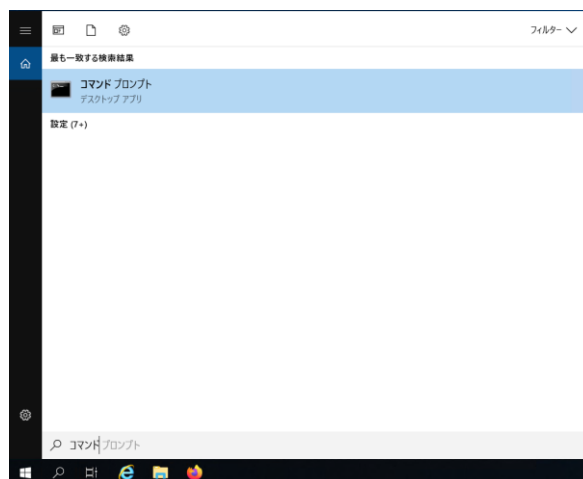
本資料ではバックアップディスクのドライブレターを「D:」としています。

ファイルの格納場所

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| ・セットアップモジュール (setup_asm_x64.exe) | : D:¥TOOL¥maxView¥Windows¥ |
| ・インストール用バッチ(maxView_install.bat) | : D:¥TOOL¥maxView¥Windows¥ |

次の手順でバックアップディスクからファイルをコピーします。

1. コマンドプロンプトを開きます。
デスクトップ画面下部の検索欄に「コマンド」と入力すると最も一致する検索結果欄にコマンドプロンプトが表示されるのでクリックします。



2. ファイルを格納するフォルダを下記のコマンドを実行し作成します。
>mkdir C:¥maxView¥

```
>mkdir C:¥maxView¥  
>
```

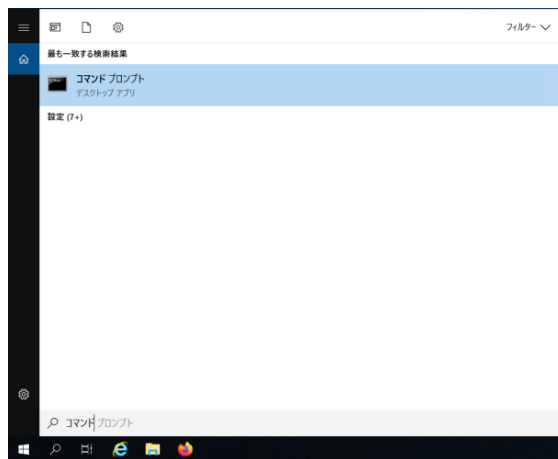
3. バックアップディスクからファイルを格納するフォルダに、下記のコマンドを実行してコピーします。
>copy D:¥TOOL¥maxView¥Windows¥ C:¥maxView¥

以上で事前準備完了です。

2.1.2. maxView Storage Manager のインストール(Windows)

maxView Storage Manager のインストールをします。次の手順でインストールします。

1. コマンドプロンプトを開きます。
デスクトップ画面下部の検索欄に「コマンド」と入力すると最も一致する検索結果欄にコマンドプロンプトが表示されるのでクリックします。



2. インストール用バッチのコピー先フォルダに移動し、下記のコマンドを実行しインストールを開始します。
>maxView_install.bat

```
>cd C:¥maxView¥  
>maxView_install.bat
```

3. インストールを開始すると「インストール中...」と表示されます。しばらくして、インストールが正常に完了すると「Installation completed successfully.」と表示されます。

```
>maxView_install.bat  
インストール中...  
Installation completed successfully.  
>
```

4. デスクトップに maxView Storage Manager アイコンが生成されます。

5. 不要になったファイルを下記のコマンドを実行し削除します。
>del /q C:¥maxView¥setup_asm_x64.exe
>del /q C:¥maxView¥maxView_install.bat

```
>del /q C:¥maxView¥setup_asm_x64.exe  
>del /q C:¥maxView¥maxView_install.bat  
>
```

以上で maxView Storage Manager のインストール完了です。

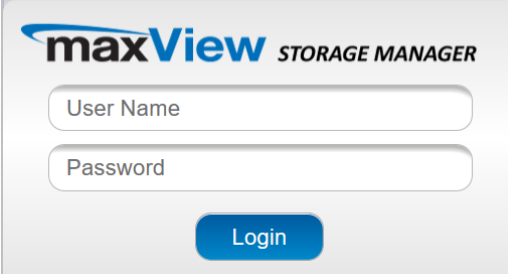


C:¥maxView¥配下の setup_asm_x64.exe および maxView_install.bat 以外のファイルは削除しないでください。

2.1.3. 起動とログイン確認

maxView Storage Manager のインストール完了後、起動とログイン確認をします。
次の手順で確認します。

1. デスクトップ上で、maxView Storage Manager のデスクトップアイコンをダブルクリックするとブラウザが起動し、ログイン画面が表示されます。
2. User Name 欄にオペレーティングシステムのアカウント名、Password 欄にオペレーティングシステムのパスワードを入力し Login をクリックします。



The image shows the login interface for maxView Storage Manager. It features the product name 'maxView STORAGE MANAGER' at the top. Below the name are two input fields: 'User Name' and 'Password'. A blue 'Login' button is positioned at the bottom right of the form.

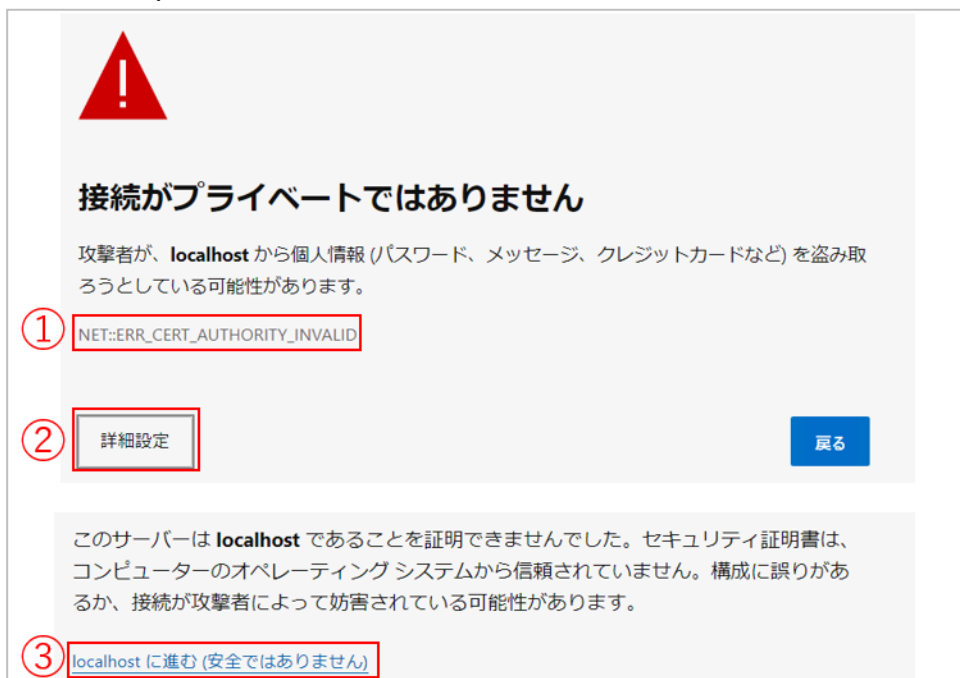


maxView Storage Manager のログインは、Administrator アカウントおよびパスワードを入力してください。

3. maxView Storage Manager のメインウィンドウが開きます。
起動確認は完了です。



デスクトップアイコンをダブルクリック時に「接続がプライベートではありません」と表示された場合は①エラーコードを確認し「NET::ERR_CERT_AUTHORITY_INVALID」の場合は、②詳細設定をクリックしてください。クリックすると③localhost に進む(安全ではありません)および詳細な情報が表示されるので内容を確認の上③localhost に進む(安全ではありません)をクリックするとログイン画面へ遷移します。



The image shows a warning dialog box with a red triangle icon. The title is '接続がプライベートではありません' (Connection is not private). The text explains that an attacker might be trying to steal information from localhost. It includes three numbered steps: ① NET::ERR_CERT_AUTHORITY_INVALID, ② 詳細設定 (Detailed Settings), and ③ localhost に進む (安全ではありません) (Go to localhost (not safe)). A '戻る' (Back) button is also present.



別のエラーコードが表示された際は、内容に従って対処してください。

2.2. インストール(Linux 版)

Linux 版のインストールについて説明します。

2.2.1. 事前準備

maxView Storage Manager のインストールを行うには、バックアップディスクに格納されているインストールパッケージ (StorMan-4.17-26540.x86_64.bin) 及びインストール用シェル (maxView_install.sh) が必要となります。

下記に、必要ファイルのバックアップディスク内の格納場所を示しますので、コピーしてご利用ください。
(利用方法は、次項以降を参照してください)

ファイルの格納場所

- ・インストールパッケージ(StorMan-4.18-26842.x86_64.bin) : /TOOL/maxView/Linux
- ・インストール用シェル(maxView_install.sh) : /TOOL/maxView/Linux

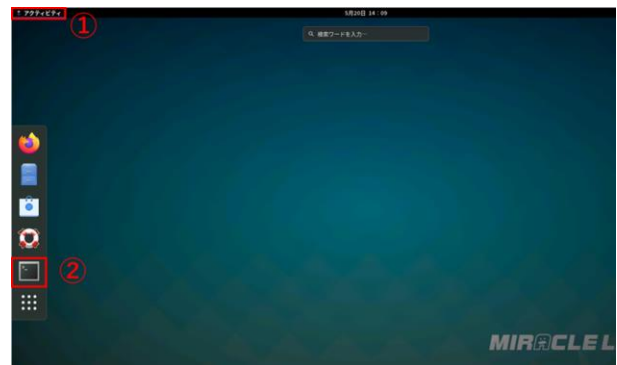
2.2.2. 必須パッケージのインストール

maxView をインストールする前に必須パッケージ「chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm(※)」をインストールする必要があります。必須パッケージは MIRACLE LINUX のインストールイメージに格納されていますので、事前に MIRACLE LINUX の公式サイトより取得してください。

必須パッケージはインストールイメージの/BaseOS/Packages/ディレクトリに格納されています。
※必須パッケージの X 部分はバージョンによって異なります。

次の手順でインストールをします。

1. ターミナルを開きます。
開き方は、デスクトップ画面左上部の①「アクティビティ」をクリックすると表示される項目の中に②「端末」があるのでクリックするとターミナルが開きます
※右の画像は MIRACLE LINUX 8.6 の OS をインストール時のデスクトップ画面です。



2. 必須パッケージのインストール確認をします。下記のコマンドを入力しインストールを確認し、インストール済みの場合は以降の手順は実施不要です。

```
# rpm -qa | grep chkconfig
```

```
# rpm -qa | grep chkconfig
#
```

3. インストールイメージより、任意のディレクトリ配下に必須パッケージ(chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm)をコピーします。
※右の例では mnt ディレクトリにマウントしたインストールイメージからコピーしています。
また、/tmp/を任意のディレクトリとしています。

```
# cp /mnt/BaseOS/Packages/ chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm
/tmp/
#
```

4. 必須パッケージ(chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm)をインストールします。tmpディレクトリに移動し下記のコマンドを実行しインストールします。

```
# rpm -i ./chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm
--nosignature
```

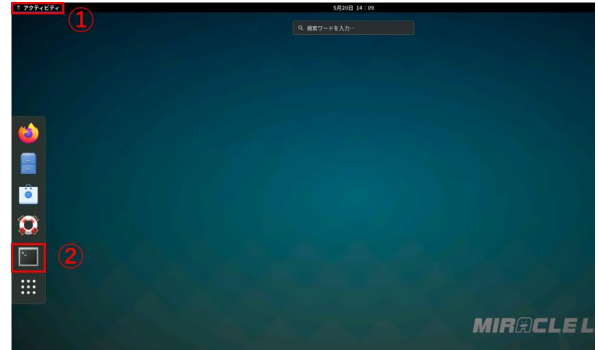
```
# cd /tmp/
# rpm -i ./chkconfig-X.XX-X.elX.x86_64.rpm --nosignature
#
```

5. 不要になったインストールパッケージを削除します。

2.2.3. maxView Storage Manager のインストール(Linux)

maxView Storage Manager のインストールをします。次の手順でインストールします。

1. ターミナルを開きます。
開き方は、デスクトップ画面左上部の①「アクティビティ」をクリックすると表示される項目の中に②「端末」があるのでクリックするとターミナルが開きます
※右の画像は MIRACLE LINUX 8.6 の OS をインストール時のデスクトップ画面です。



2. バックアップディスクより、任意のディレクトリ配下にインストールパッケージ(StorMan-4.18-26842.x86_64.bin)及びインストール用シェル(maxView_install.sh)をコピーします。
※右の例では mnt ディレクトリにマウントしたバックアップディスクからコピーしています。
また、/tmp/maxView_install を任意のディレクトリとしています。

```
# cp /mnt/TOOL/maxView/Linux/  
StorMan-4.18-26842.x86_64.bin /tmp/maxView_install/  
# cp /mnt/TOOL/maxView/Linux/maxView_install.sh  
/tmp/maxView_install/  
#
```



「StorMan-4.18-26842.x86_64.bin」と「maxView_install.sh」は必ず同一のディレクトリ配下に格納してください。

3. インストールパッケージ及びインストール用シェルのコピー先ディレクトリに移動し、下記のコマンドを実行しインストールを開始します。
./maxView_install.sh

```
# cd /tmp/maxView_install  
# ./maxView_install.sh
```

4. インストールが完了すると Installation completed successfully と表示されます。

```
# ./maxView_install.sh  
Verifying...  
##### [100%]  
準備しています...  
##### [100%]  
  
maxView Storage Manager  
Version 4.17  
  
更新中 / インストール中...  
1:StorMan-4.18-26842  
##### [100%]  
Installing maxView in Standalone Mode.  
  
Starting maxView Storage Manager Redfish Server [ OK ]  
Starting maxView Storage Manage WebServer [ OK ]  
  
Installation completed successfully.  
#
```

5. デスクトップに maxView Storage Manager アイコンが生成されます。

6. 不要になったファイル(インストール用シェル) を下記のコマンドを実行し削除します。

```
# rm -f maxView_install.sh
```

```
# rm -f maxView_install.sh  
#
```

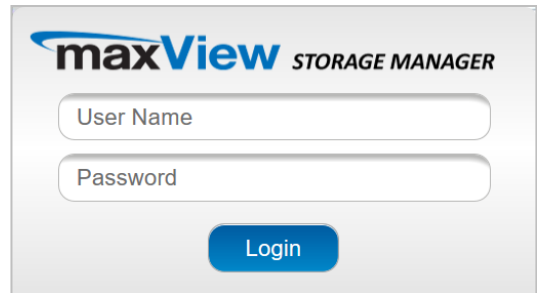


インストール用シェルと同一のディレクトリにコピーした「StorMan-4.18-26842.x86_64.bin」は maxView Storage Manager をアンインストール時にも使用します。削除しても maxView Storage Manager の使用には問題ありませんが、maxView Storage Manager をアンインストールする場合、再度バックアップディスクからコピーする必要があります。

2.2.4. 起動とログイン確認

maxView Storage Manager のインストール完了後、起動とログイン確認をします。
次の手順で確認します。

1. デスクトップ上で、maxView Storage Manager のデスクトップアイコンをダブルクリックするとブラウザが起動し、ログインウィンドウが表示されます。
2. User Name 欄にオペレーティングシステムのアカウント名、Password 欄にオペレーティングシステムのパスワードを入力し Login をクリックします。




The image shows the login interface for maxView Storage Manager. It features a header with the product name 'maxView STORAGE MANAGER'. Below the header are two input fields: 'User Name' and 'Password'. At the bottom of the form is a blue button labeled 'Login'.



maxView Storage Manage のログインは、root アカウント及びパスワードを入力してください。

3. maxView Storage Manager のメインウィンドウが開きます。
起動確認は完了です。

 デスクトップアイコンをダブルクリック時に「警告:潜在的なセキュリティリスクあり」と表示された場合は①詳細情報を表示し、②エラーコードを確認してください。エラーコードが「MOZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT」の場合は、③危険性を承知で継続をクリックするとログイン画面へ遷移します。

 **警告: 潜在的なセキュリティリスクあり**

Firefox はセキュリティ上の潜在的な脅威を検知したため、127.0.0.1 への接続を中止しました。このサイトに訪問すると、攻撃者がパスワードやメールアドレス、クレジットカードの詳細な情報を盗み取ろうとする恐れがあります。

[エラーの説明...](#)

① [戻る \(推奨\)](#) [詳細情報...](#)

127.0.0.1:8443 は不正なセキュリティ証明書を使用しています。

自己署名をしているためこの証明書は信頼されません。

② エラーコード: MOZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT

[証明書を確認](#)

③ [戻る \(推奨\)](#) [危険性を承知で続行](#)

 別のエラーコードが表示された際は、内容に従って対処してください。

3章 アンインストール

maxView Storage Managerのアンインストールについて説明します。

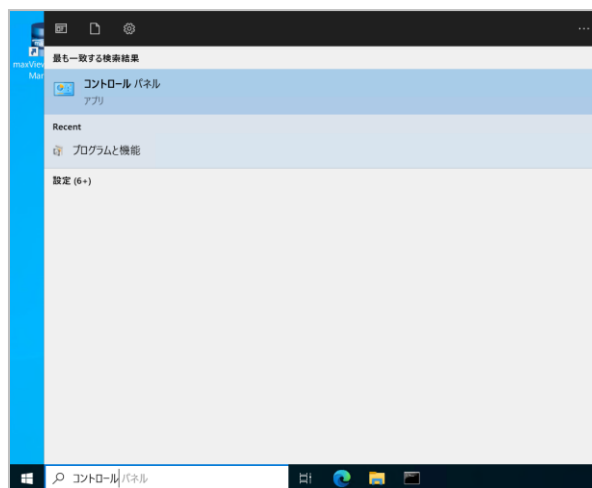
3.1. アンインストール(Windows 版)

Windows 版の maxView Storage Manager をアンインストールします。次の手順でアンインストールします。

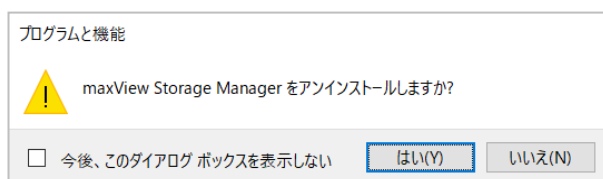
3.1.1. maxView Storage Manager のアンインストール (Windows)

maxView Storage Manager をアンインストールします。次の手順でアンインストールします。

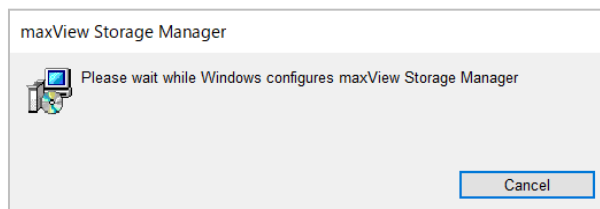
1. コントロールパネルのプログラムと機能を開きます。
コントロールパネルの開き方は、デスクトップ画面下部の検索欄に「コントロール」と入力すると最も一致する検索結果欄にコントロールパネルが表示されるのでクリックします。



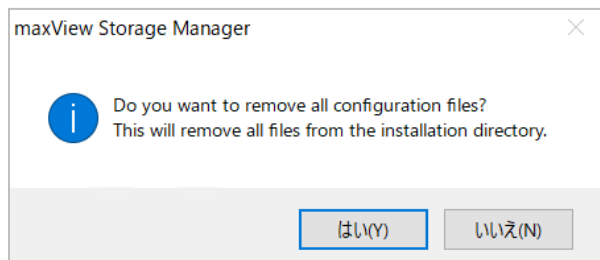
2. プログラムと機能をクリック後、表示された一覧から maxView Storage Manager を右クリックし、アンインストール(U)をクリックします。
3. 右図のプログラムと機能ウィザードが表示されます。「はい(Y)」をクリックします。



4. 右図の maxView Storage Manager ウィザードが表示されるのでしばらく待ちます。



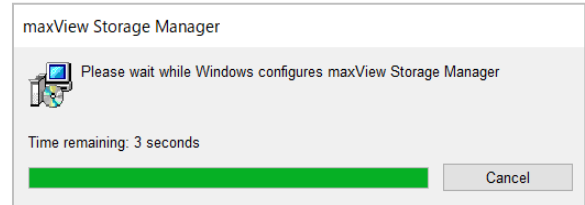
5. 右図の maxView Storage Manager ウィザードが表示されます。はい(Y)をクリックし、ウィザードを閉じます。





アンインストールすると C:\Program Files\Adaptec フォルダが削除されます。
フォルダ内に必要なデータがある場合は、アンインストール前にバックアップを取得してください。

6. maxView Storage Manager ウィザードに残りの処理時間が表示されるので、しばらく待ちます。



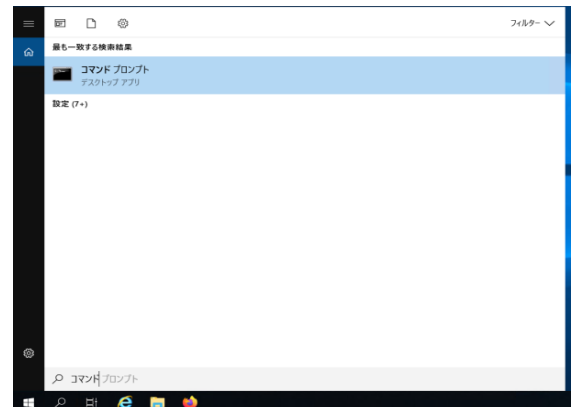
7. ウィザードが自動で閉じます。
また、デスクトップから maxView Storage Manager アイコンが削除されます。

以上で maxView Storage Manager のアンインストール完了です。

3.1.2. 不要ファイルの削除

不要ファイルを削除します。次の手順で削除をします。

1. コマンドプロンプトを開きます。
開き方は、デスクトップ画面下部の検索欄に「コマンド」と入力すると最も一致する検索結果欄にコマンドプロンプトが表示されるのでクリックします。



2. 下記のコマンドを実行し作成したフォルダを格納しているファイルごと削除します。
> rmdir /s/q C:\maxView¥

以上でレジストリおよび不要ファイルの削除完了です。

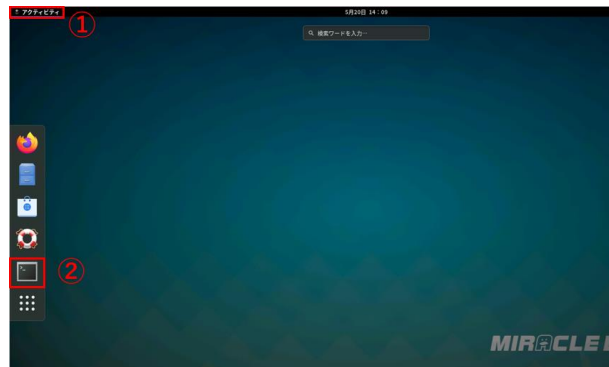
3.2. アンインストール(Linux 版)

Linux 版の maxView Storage Manager をアンインストールします。

3.2.1. maxView Storage Manager のアンインストール(Linux)

maxView Storage Manager をアンインストールします。次の手順でアンインストールします。

1. ターミナルを開きます。
開き方は、デスクトップ画面左上部の「アクティビティ」をクリックすると表示される項目の中に「端末」があるのでクリックするとターミナルが開きます
※右の画像は MIRACLE LINUX 8.6 の OS をインストール時のデスクトップ画面です。



2. インストールパッケージのコピー先ディレクトリに移動し、下記のコマンドを実行しアンインストールを開始します。
./ StorMan-4.18-26842.x86_64.bin --remove

```
# cd /tmp/maxView_install
# ./StorMan-4.18-26842.x86_64.bin --remove
#
```



インストールパッケージがない場合は、バックアップディスクよりコピーしてください。
インストールパッケージのコピーについては、2 章-2 を参照ください。

3. アンインストールが完了すると Uninstall completed successfully.と表示されます。
4. デスクトップから maxView Storage Manager アイコンが削除されます。
5. 不要になったインストールパッケージを下記のコマンドにより削除します。
rm -f StorMan-4.18-26842.x86_64.bin

```
# rm -f StorMan-4.18-26842.x86_64.bin
#
```

以上でアンインストール完了です。

改版履歴

版数	発行年月	改版内容
1 版	2025 年 7 月	新規作成

maxView Storage Manager
インストールガイド

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。